

がん相談窓口・がん患者サロン 「きねの」をご利用ください

福井県立病院 がん専門相談員

第3弾は、福井県立病院がん相談支援センター相談員が、当院で開催されているがん患者サロン「きねの」について紹介させていただきます。

1 がん相談窓口

●がん相談支援センターとは、

全国の「がん診療連携拠点病院」や「小児がん拠点病院」「地域がん診療病院」に設置されている、がんに関する相談の窓口です。福井県内に、「がん診療連携拠点病院」は5施設あり、当院は県内において中心的ながん診療機能を担う医療機関として平成19年に厚生労働大臣より、「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定されています。

●専門の相談員対応

国が指定した研修を修了したがんについて詳しいスタッフが、がん専門相談員として対応しています。

●相談無料

患者さんやご家族のほか、地域の方々はどなたでも無料でご利用いただけます。

●匿名相談可能・秘密厳守

匿名でも相談を行うことが可能です。

相談内容はもちろんのこと、相談を受けたこと自体も秘密として取り扱います。

●院内・院外のネットワーク

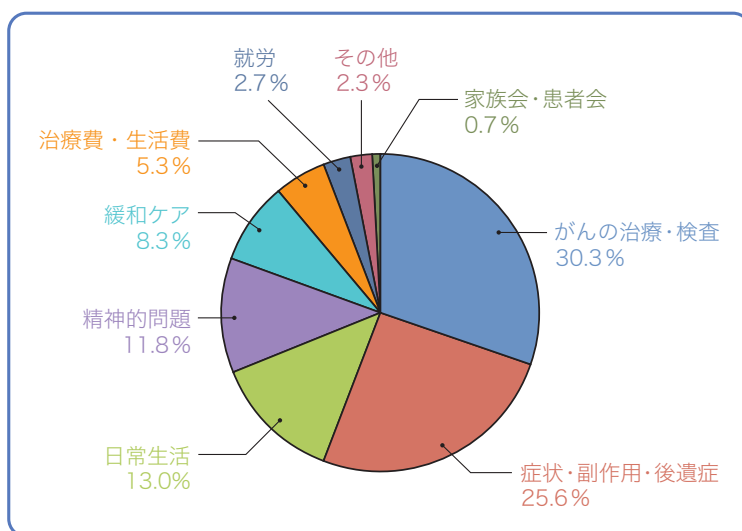
院内の専門スタッフだけではなく、全国のがん相談支援センターや就労問題専門職（社会保険労務士、ハローワーク相談員）、患者会などのネットワークを活用して相談対応をすることもできます。

「家族がいる県外で治療を受けたい」「治療と仕事を両立させたい」「症状・通院治療状況にあった仕事を探したい」「同じ病気の人のお話を聞きたい」など、話を聴きながら、一緒に状況を整理し、個々にあった向き合い方を考えていくお手伝いをします。

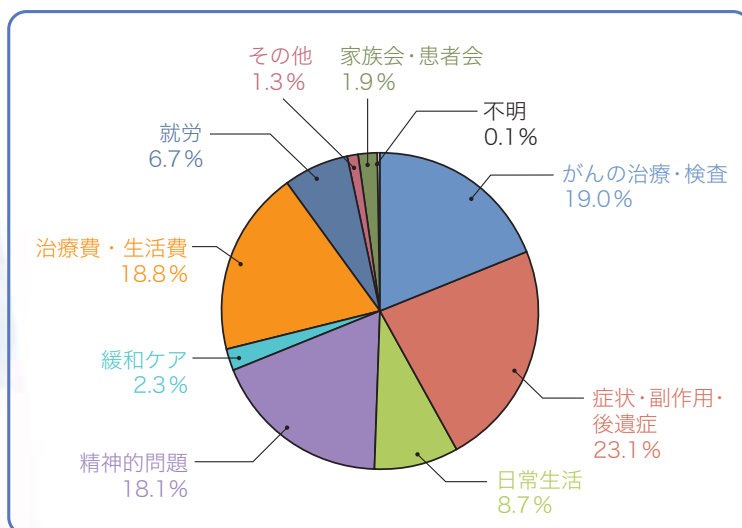


●相談内容の変化～がん相談員より～

2008年 相談内容



2019年 相談内容



全国のがん診療連携拠点病院にがん専門相談員が配置されて13年目を迎えました。がん専門相談員が受ける相談内容も、ずいぶん変化しました。特に大きな変化内容は、治療費・生活費やそれに関連した就労関係の項目です。その社会背景に、①最近のお薬は大変高額になっていること ②医療の進歩で「がんになっても働き続けられる」患者さんが増えたことなどがあげられます。がん専門相談員は、じっくり話を聴き気持ちに寄り添っていくように心がけています。そのうえで、社会背景や相談者個々の背景を考えながら、必要な情報提供や相談者の行

動に繋がるような提案を行っています。

今後もその姿勢を忘れずに相談対応していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 がん患者サロン「きねの」

がんの患者さんやご家族のくつろぎと交流の場として、原則 第2・第4木曜日 に、がん患者サロン「きねの」を開催しています。

がん患者サロン「きねの」では、

●ご自分の病気や治療について医療関係者に話を聴くことができます。

「きねの」では、毎回多彩な講師を迎えています。講師には、当院の専門医や専門・認定看護師、管理栄養士、がん専門薬剤師などの医療スタッフがおります。今年は、ご要望にお応えして昨年度にひきつづき「前立腺がん」について専門医師の講座を予定しています。